

内科 小児科 漢方  
産科 婦人科  
浮田医院  
だより



第 71 号  
医療法人 せいらぎ会  
発行所：浮田医院  
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28  
TEL 0740-32-3751  
FAX 0740-32-3795  
ホームページ：http://www.ukita.gr.jp  
e-mail:kanpou@ukita.gr.jp  
発行日：2007年8月5日(日)  
発行者：浮田 徹也



## 漢方薬のよさ(71) アトピー性皮膚炎 IV

景仲張聖賢



徳和堂「せいらぎ会」

幼い日の縁日の金魚すくいを懐かしむ季節になりました。家の近くの「日限りのお地藏さん」で毎月二十三日に縁日が開かれています。金魚すくい、綿菓子、水あめ、お面、たこ焼き、的あてなどの露天がひしめいていました。「○○日までに」と、期限つきのお願いをすることのできるお地藏さんでした。ずいぶん助けていただきました。近くの池のハスも懐かしく思い出されます。ハスの花は開花初日、夜明けから猪口のように午前一〇時ころまで咲き、二日目は腕のように午前十一時ころまで咲き、三、四日目は昼過ぎから夕方まで咲き、そして散ってしまします。福井県南条のハスは日本一、見事です。見渡す限りはす畑が広がっています。また、「はす公園」にも美しいハスの花が咲いています。

アトピー性皮膚炎のお話です。



蓮：草津水の森

全身状態や皮膚の状態から陰陽と虚実を決め漢方薬を処方、保湿を目的に外用薬を用い、皮膚の清潔や家族や対人関係も重要視し、更に、アレルギーを引き起こしていると考えられる食物(アレルギー)を見つげるため食品チェックも行い、経過を確認するため血液

検査も実施しています。漢方薬を処方する場合、乳幼児では「脾(胃腸)」の強化、青少年では「肝(情緒)」の調整、大人では「肝(情)」「瘀血(微小循環障害)」を中心に診断します。痒みが強い場合「清熱剤」(黄连、石膏、黄芩など)、イライラ、神経質な場合「柴胡剤」「理気剤」(半夏、厚朴、紫蘇、香附子など)、胃腸虚弱の場合「補脾剤」(人参、黄耆、茯苓、白朮など) 血液循環が悪い場合「駆瘀血剤」(桃仁、牡丹皮、紅花など)、カサカサが強い場合「補血剤」(地黄、麦門冬など)を使用します。

では実例に移ります。

十七歳女性、アトピー性皮膚炎(顔、首、胸、腹、背中、手足など全身に紅斑、丘疹、痒疹、湿潤を伴い掻痒がひどい)、月経痛、便秘。血色良好、胸脇苦満、心下痞硬、両側腹直筋緊張、両側臍傍抵抗と圧痛、両側臍下腹直筋緊張、お腹は筋緊張が強い。脈、弦、緊、数。舌は鮮紅色、乾黄苔、舌下静脈怒張。そこで、柴胡、芍薬、枳実、甘草、黄連、黄柏、山梔子、石膏、桔梗、牡丹皮、桃仁、荊芥、連翹





当帰、厚朴、陳皮、木通、紅花、蘇木、大黃、芒硝を処方。ステロイド外用剤、白色ワセリン、紫雲膏、太乙膏などを併用。一年後、スレロイド外用薬を中止。三年後、四逆散十通導散のエキスを漢方に変更。五年後、桂枝茯苓丸に変更。継続中。四十七才男性、夏ばて、疲労、食欲不振、息切れ、寝汗、軟便。両頬は赤く紅潮、心下痞硬、臍上悸、腹部膨満、脈は浮数細。舌は淡紅色、乾膩黄苔。そこで、人參、白朮、陳皮、神麴、沢瀉、黃柏、甘草、当帰、青皮、麥門冬、葛根、五味子、黃耆、蒼朮、升麻を処方。一週間後、疲れ、食欲不振、軟便など改善。更に一週間服用して廃薬。

二十九歳女性、冷え症、夏の冷房で冷え冷える、起床時や夕方、むくみ、立ちくらみ、倦怠感。顔は蒼白く、心下痞、胃内停水、臍上悸、両側臍傍抵抗と圧痛、下腹部は膨満。脈は沈、細、弱。舌は淡紅色、薄白苔、舌下静脈怒張。そこで、当帰芍薬散を処方。一週間後、立ちくらみ、むくみが改善。一ヶ月後、倦怠感が改善。六ヶ月後、クーラーの中では冷えてつらい。そこで、当帰芍薬散と修治附子末



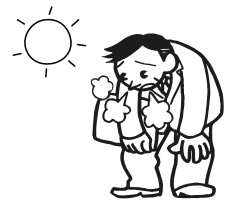
〔院長〕

を処方。一年後、冷房中でもつらくなくなつた。現在も服用中。五七歳女性、骨粗鬆症、腰痛、下肢の冷えとむくみ、食欲低下。顔は青白、腹は全体に軟弱、胃内停水、臍上悸、臍下悸、臍下不仁。脈は細、沈、遅。舌は淡紅色、薄乾白苔、舌下静脈怒張。そこで、独活、桑寄生、杜仲、牛膝、細辛、秦艽、桂枝、防風、川芎、地黄、人參、当帰、芍薬、茯苓、甘草、乾姜、紅花、桃仁、青皮、木瓜、木通、附子を処方。一ヶ月後、体調改善。六ヶ月後、症状消失。一年後、骨量不変。腰痛、冷え、浮腫、食欲改善。五年後の現在も継続中。改築工事でご迷惑をおかけしています。近々念願の妊婦さまのための待合、漢方の患者さまのための待合が完成します。次回は、妊娠高血圧症候群についてです。



## 夏ばて

もともと、胃腸(脾)の弱い方、イライラする方、上半身に比べ下半身の弱い方、暑さや湿気で、食欲、発汗、排尿、排便が不調になり、疲れ、だるさ、むくみ、意欲低下、不眠の方。漢方薬をお試し下さい。体のだるさ、食欲不振、むくみなどの症状が取れてきます。その他の身体症状も改善し体力も強化されます。漢方待合室が完成しましたらご用意します。お試しください。



## 冷え症

虚弱体質(青白い顔、風邪を引きやすい、弱い脈、細い脈)、胃下垂(食欲不振、胃もたれ)、末梢循環血液鬱滞(瘀血)、末梢循環血液不足(血虚)、気力不足(疲れやすい、息切れ)、抑うつ状態(気分沈滞、意欲低下)、自律神経失調症(冷えのぼせ、頭痛、動悸、異常発汗)を改善するには漢方薬が有効です。また、冷房や食品の寒熱にも注意して下さい。



## 骨粗鬆症

骨量は、成長期のカルシウムや蛋白の摂り方(子供の頃の牛乳)、運動の仕方が影響します(小学校～高校の時期)。

女性の骨量は閉経以後急速に減少、男性は50歳を過ぎるころから徐々に減少します。当院は、定期的に骨量を測定し、漢方薬や西洋薬を利用しながら、食事指導を積極的に取り入れています。



## 当院の漢方治療



### 剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。  
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。  
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

### 適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

### エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

### 女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

### 予約-漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります。予約制、2回/月)。  
午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、  
3時～3時20分、3時20分～3時40分。  
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

### 改築工事

7月13日、漢方部門の入り口、漢方部門の待合を新設する工事が始まりました。工事中はご迷惑をおかけし申し訳ありません。

### 漢方のお茶

漢方部門の待合が完成しましたら、**夏負け防止の漢方のお茶**をお出しする予定です。

### 漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

### 健康保険証の確認

保険証は**毎月確認**することになっています。保険が  
使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、  
早急に受付に連絡して下さい。

### 在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、  
その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。  
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問  
診療**を行い、患者さんの健康を管理します。  
**在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。**

### 骨量測定(4～6ヶ月ごと)

**1分で測定**(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡し  
します。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

### 皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは3.0mm、  
いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、  
足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

### 処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

**診療券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き**処置の欄**  
にチェックして下さい。

## 外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約～漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約可) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約～漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分

電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土曜日)(予約可): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日)(予約可): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日)(予約可): 妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

## 前期と中期-母親教室

日時: 平成19年9月1日、10月6日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。\*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

## 後 期 - 母 親 教 室

日時: 平成19年8月11日(土)、25日(土)、29日(水)、9月8日(土)、

19日(水)、29日(土) 対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

## 母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳と“母と子のてびき”を忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。

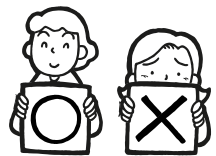
ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



## 傷寒論

中国三大古典のひとつ、張仲景が紀元3世紀初頃著した「傷寒雑病論」の内、急性疾患(傷寒)を扱った部分を「傷寒論」と呼んでいます。疾病を陽と陰に分け、陽では発汗や排便、陰では内部を温める(温裏)方法を利用します。わが国では江戸時代に盛んに研究され、腹診を中心の流派(古方)に大いに取り入れられています。

張仲景は私利私欲(名誉と物欲)に迷い、病気になってから神頼みする風潮を戒め、生命(健康)の尊さを説き、金儲け主義の医者者を批判し、その不勉強による医療過誤を遺憾として医療の本来あるべき姿を論じています。



## 分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。

ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。

予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。

## 外来の予約方法

患者様の診察の待ち時間が短くなるように、診察の時間予約をしています(再診の方のみ)。そのため、予約頂いている患者様を優先させて頂きます。また、通院中の患者様の中でお薬だけ・注射だけ・検査だけの場合は時間予約の必要はありませんので診察時間中にお越し下さい。

◆ご予約頂いておりましても、分娩などで診察を中断する事もございますのでどうかご理解頂きます様にお願い致します。

◆初診の方は予約できません。ご了承ください。

浮田医院ホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)

産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)

漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)

老人医療のページ(在宅療養の支援)

健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)

当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

## 正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。

初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。

分娩希望の方はすべて受け付けています。

## 母乳相談(助産師)

母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。(電話予約可)

午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。

日程は掲示板やホームページでお確かめください。

## 赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。

日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

## 入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

## 外来休診のお知らせ

8月13日～16日の間、外来を休診します。

お産や急患はこのかぎりではありません。